

いのちまもる医療・介護・福祉労働者は

「戦争法(安保法制)」の廃止を求めます!

安倍自公政権が、民意を無視し違憲の「戦争法(安保法制)」を強行採決したことに抗議するとともに、廃止を求めます。

この「戦争法(安保法制)」は、あらゆる場合に自衛隊が海外に出動し、「いつでも、どこでも、切れ目なく」他国の戦争に介入し、武力を行使できるようにするものです。

私たちは、先の大戦で海外での侵略戦争に従軍看護婦として動員された痛苦の体験から「ふたたび白衣を戦場の血で汚(けが)さない」ことを合言葉に、平和といのちまもる課題を全日赤結成以来70年間、一貫して最重要課題として位置づけて運動に取り組んできました。国民のいのちと健康を守る医療・介護・福祉労働者として、直ちに同法を廃止することを求めます。

以上、職場から決議します。

2015年10月21日

単組名【全日赤山口第67回定期総会】

施設名【 】

職場・所属【 】 38名

【賛同者の名前やメッセージなど】

私の病院の敷地内には従軍看護婦の慰霊碑があります。日本から遠く離れた場所で、どんな思いで死んでいったのか、また、腹部を受傷して、ガンを交換しても便や尿が漏れ出す自らの体を兵士はどんな思いで向き合っていたのか。1人1人の立場になって考えた時、アメリカと戦争の道を選ぶ選択はあり得た。

